

2006年(平成18年)
日本放射線安全管理学会・第5回学術大会

会長 馬場 護
大会長 西澤 邦秀

下記のように、日本放射線安全管理学会・第5回学術大会を名古屋大学で開催いたします。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催：日本放射線安全管理学会
共催：名古屋大学アイソトープ総合センター
会期：平成18年11月29日(水)～12月1日(金)
会場：名古屋大学野依記念学術交流館
講演申込締切日：平成18年8月31日(木)
予稿原稿締切日：平成18年10月20日(金)
事前登録締切日：平成18年10月31日(火)

学術大会ホームページ：<http://www.ric.nagoya-u.ac.jp/JRSM/dai5taikai/menue.html>

大会事務局：〒464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学アイソトープ総合センター内

日本放射線安全管理学会第5回学術大会実行委員会 事務局

TEL：080-5121-0456 FAX：052-789-5048

E-mail：xx-dai5taikai@nucl.nagoya-u.ac.jp

(送信の際は先頭の"xx-"を削除してください。迷惑メール対策のため)

郵便振替口座番号：00890-0-86260

加入者名称：「日本放射線安全管理学会第5回学術大会実行委員会」

1. 一般講演の募集

以下のごとく、放射線安全管理に関わる広い分野での研究成果、技術報告および活動成果について発表を求めます。

- 1) 放射性同位元素，エックス線発生装置，加速器，原子炉，核融合実験装置，核燃料物質や放射性廃棄物等の放射線源の安全取扱
- 2) 放射線場，放射性同位元素，放射線被曝や環境等に対する安全管理
- 3) 緊急時，医療，宇宙開発等に付随する特殊な被曝に関わる安全管理上の課題
- 4) 関連法令に対する対応
- 5) 教育訓練および社会的啓発活動
- 6) 放射線安全システム設計や遮蔽設計
- 7) 最新の放射性同位元素等の利用法
- 8) その他，安全取扱および安全管理に関わる現場での貴重な知見，経験等

一般講演の登壇者は日本放射線安全管理学会の正会員，学生会員及び名誉会員に限ります。発表形式は口頭発表またはポスター発表で行います。講演申込時に選んでください。

2. 講演申込方法

講演の申込は電子メールでお願いします。第5回学術大会ホームページに電子メール用の講演申込書を用意してあります。1件ごとに必要事項を入力して大会事務局に電子メールにてお申込ください。メールの件名は「発表申込」として下さい。申込締め切りは平成18年8月31日(木)です。

3. 講演予稿集原稿の執筆・送付方法

原稿は原稿執筆要領に従って執筆をお願いします。電子メールで WORD か pdf 形式の電子ファイルを添付ファイルとして大会事務局にお送りください。予稿原稿締切日は平成 18 年 10 月 20 日（金）です。

4. 参加費用と事前登録の方法

参加登録は出来るだけ事前に済ましていただきますようお願いいたします。

1)事前登録者

参加費：正会員 6,000 円，非会員 7,000 円，学生は無料（ただし予稿集は 2,000 円で販売します）

予稿集：一部 2,000 円（一般参加登録者は 1 部無料）

懇親会：一般 5,000 円，学生 3,000 円

2)当日登録者

参加費：正会員 7,000 円，非会員 8,000 円，学生は無料（ただし予稿集は 2,000 円で販売します）

予稿集：一部 2,000 円（一般参加登録者は 1 部無料）

懇親会：一般 6,000 円，学生 4,000 円

参加費用等の送金受け取りをもって事前登録とします。郵便振替用紙に(1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)懇親会への参加・不参加，(5)送金額等（会員・非会員・学生会員の別，参加費，懇親会費，予稿集部数と必要金額）を明記の上，送金してください。（口座番号：00890-0-86260，加入者名称「日本放射線安全管理学会第 5 回学術大会実行委員会」）。ただし懇親会に参加しない学生の方は事前登録する必要はありません。日本放射線安全管理学会誌第 5 巻第 1 号 に郵便振替用紙（振替手数料は学会負担）を同封してありますのでご利用ください。事前登録の締切日は平成 18 年 10 月 31 日（火）です。

5. 懇親会

大会参加者の親睦を深めるため大会 2 日目に懇親会を開きます。多くの方が参集して下さることを期待しております。

日時：平成 18 年 11 月 30 日（木）講演終了後

場所：グリーンサロン東山内 レストラン花の木（名古屋大学キャンパス内にあり，大会会場から至近です。）

6. 大会会場について

野依記念学術交流館は，野依良治名古屋大学特別教授（理化学研究所理事長）のノーベル化学賞受賞を記念して整備された施設です。国内外の優れた研究者が集う国際シンポジウムや国際研究集会等を開催することができるカンファレンスホールや会議スペースを備えています。本交流館は名古屋大学アイソトープ総合センターの隣に位置し，名古屋駅から地下鉄で約 40 分の距離にあります。詳しくは名古屋大学のキャンパスマップをご覧ください。

（<http://www.nagoya-u.ac.jp/info/profile2005/p23-map-c.html>）

7. 宿泊及び交通手段

宿泊及び交通手段につきましては，各自でご手配下さい。駐車スペースがありませんので，車での来場はご遠慮ください。

8. 特許出願について

本学会は，「特許法第 30 条第 1 項（実用新案法第 11 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づく学術団体」の指定を受けております。したがって，本学術大会で発表の方が，その発表内容に基づいて特許を出願する場合，発表後 6 ヶ月以内の出願であれば発明の新規性喪失の例外的措置を受けることができます。

9. ポスターの大きさ

ポスター発表に使用するパネルの大きさは縦横が 163×113cm です。これに収まるようにポスターを作成してください。

10. 原稿執筆要領

- 1) 原稿は 1 ページとします。お送りいただいた原稿をそのまま印刷します。
- 2) 原稿は A4 サイズで、上下の余白を 2.5 cm、左右の余白を 2 cm とし、本文は 10.5 ポイント明朝フォント（原則）で 35 ~ 40 行/頁で作成して下さい。
- 3) 表題、著者名、所属の順に改行してゴシック体で記入、センタリングの後、1 行空けて本文を記入して下さい。表題（日本語）のみ 14 ポイントとし、表題、著者名ならびに所属には英語表記を付して下さい。
- 4) 図版、写真、表は原稿にソフトで貼りこみ、その大きさは本文とのバランスを考慮して下さい。
- 5) 単位は原則として SI 単位を使用して下さい。
- 6) 表の見出しは上方に、図・写真の見出しは下方に、本文より少し小さいフォントで記入して下さい。

原稿執筆要領に合った表題・文章のスタイルは下のようになります。参考にして下さい。第 5 回学術大会のホームページに WORD 用のテンプレートを用意してあります。

講演予稿例

日本放射線安全管理委員会の役割

Role of Japan Radiation Safety and Management Committee

安全太郎, 管理花子*, 学会一郎**

Taro ANZEN, Hanako KANRI, Ichiro GAKKAI

京阪大 RI, 広神女子大*, 香徳大工**

RI Center, Keihan Univ., Koushin Womens College*, Fac. of Eng. Univ. of Koutoku**

平成 18 年 11 月 29 日（水）～12 月 1 日（金）の 3 日間にわたって名古屋大学野依記念学術交流館において日本放射線安全管理学会の第 5 回学術大会が開催されます。会員諸氏におかれましては奮って口頭・ポスター発表、シンポジウムでの活発な討論に参加していただき、本会が放射線安全管理学の進展に貢献する有意義で盛会な学術大会となりますよう実行委員会一同心から期待しております。大会に参加される方は、ホテル等の宿泊所の予約を是非とも早めに済ましてくださいますよう改めてお願い申し上げます。
